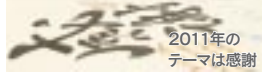




2012年成人式 実行委員募集



南あわじ市では毎年、成人式実行委員会の新成人が成人式の企画・準備・運営などを行っています。自分たちの成人式を思い出に残るものにしたい!という人、実行委員になりませんか。2012年の実行委員を募集しています。☎生涯学習文化振興課 ☎ 37-3020



撮影にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

『続三原郡史』 郡史の拾い読み 知っておきたい... 地名の由来

その20



八 木馬廻 (やぎうままわり)

牛馬の健康を祈る習慣：

地元の人には、「ウママリ」と発音する。馬廻の「まわり」という漢字は、江戸期以来の地誌、村方文書では廻、回、回が使われている。八木大久保の南東にあり、南部は、山地で成相川が北流する緩やかな傾斜地を占める。「正保国絵図」に村名がみえる。成相寺は、寺伝によると、仁治四年(1243)、高野山の僧実弘上人が高野山を模して建立したと伝えられている。しかし「淡路国大田文」には笑原保のうちに「成相寺二所」とあるの

で、同年にはすでに存在していた。地名の語源として、五月五日の節句に、牛などは、その角に菖蒲を結わえて、その字地のところの何らかの目標物を中心に廻らせて、牛馬の健康を祈る習慣があった。その習慣から発した地名という説がある(落合重信説)。牛耕地帯でも、この行事は、「ウママリ」と呼ばれたのか、疑問が残っている。守護大名細川氏を警護する馬廻衆が居住していた地域とも考えられるが、まだ定説はない。

八 木寺内 (やぎじない)

寺領であった：

大久保村の西にある。中央部を天野川が北西流し、南西部を円行寺川(三原川)が流れ、小井村境で合流して北へ流れる。「正保国絵図」に村名がみえる。当村(区)は、寺内と宮地からなる。宮地は、村の「勝示」であったが、明治十年に寺内村、大久保村、馬廻村と合

併して天野村となった。その後、寺内と宮地は同一区となった。地名の由来は、寺内は、室町期の上田寺の寺領であったからと伝え、宮地は上田八幡神社の社領であったからと伝えられている。

編集事務局
市長公室 ☎ 43-5002

※第7編 各説 地名の改変 三原郡の大字名と冠称の由来から抜粋 (訂正)1月号の地名の由来=複列大複列2段目11行目、「墓城」→「墓域(ぼいき)」